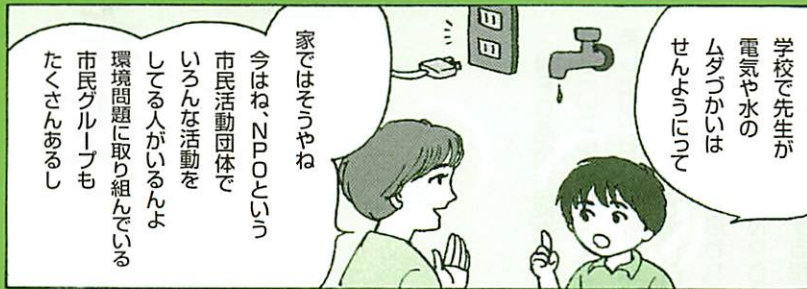


あうみネット

あうみネット

Communication Paper for Voluntary Network in Ohmi



人と人をつなぐ♥
ネットストーリー 作 杉尾尚子

その1.心の貯金箱編



TOPICS

NPOを支える
税制改革とは

淡海ネットコラム『一緒につくって!』

スポットライト

- 遊林会
- テアトルネットワーク湖人の会
- MEDICOF滋賀

新コーナー

め・と・て・と・ねっと

市民&企業&行政ネット

『環境にやさしい
パッケージをみんなで考えよう!』

伝言板 5月・6月

心をむすんで リレーエッセイ

●里山の風景を次代につないで●

センター・インフォメーション

2000.5
may
No.17

TOPICS

NPOを支える税制改革とは

その改革の方向性を考える

3月22日開催
『NPO税制度勉強会』
より

今、議論が必要な理由

NPO法制定のときに、施行後2年以内に、法律の仕組みや税の改正案をまとめるということが国会で付帯決議され、そのシステムを3年以内にスタートさせるということが付則でうたわれました。今年の11月30日まで、あと8ヶ月の間に、意見を出し合いながら、これらの改正案をまとめなくてはいけない時期にあたります。

税金には、全体の福利を守ること、社会を平等にするための所得再分配、そして多様な政策の誘導ができるという3つの役割があります。誰でも税金が減るなら興味を持ちますよね。みんなでNPOを支え、NPO活動を活発にしていける税制度をこの機会につくることが可能なのです。

税制改革の内容

NPO・市民活動の良さは、行政に対して独立していることだと思います。民間の立場で自由に行政のような公共的なことを行う。機動性、開拓性、民間らしさが強くなるほど、私はNPO

NPO活動を促進するための仕組みとして、98年3月に制定された特定非営利活動促進法(いわゆるNPO法)により、NPOの法人格取得の規制緩和という大きな成果がありました。もうこの課題、NPO活動を支える税制優遇制度については先送りされました。税制度は専門的で難しい面もあり、税制改革に向けてのNPO・市民活動の盛り上がりも欠けているように思われます。

そこで、今回は、NPO活動を促進する税制度を提案し、ロビー活動などを行っている『NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会』の世話団体・大阪ボランティア協会の早瀬昇さんを講師に、去る3月22日に開催したNPO税制度勉強会の内容をお届けします。

が元気になると思っています。では、その活動を財政的にどのように支えることができるのか。そのためには、民間から民間にお金が動くための税制の改革が重要だと思っています。

まず寄付です。お金の場合、寄付者の税金を減額する寄付金控除というのがあります。寄付金控除には、所得控除(課税所得から寄付金控除額を控除)、税額控除(納税額から寄付金を控除)がありますが、一般的には所得控除ですね。マイレージ感覚で寄付金控除のある団体に寄付するのが楽しくなると思います。不動産の場合はどうでしょうか。Aさんが自分の土地をあるNPOの活動のために寄付する



とします。でも税法上、Aさんが全く無償で寄付しても、寄付した不動産の時価分の譲渡益があつたとしてみなされ、その時価分を寄付者が(一)課税(みなし譲渡税)されます。寄付した上に税金をとられてしまうのです。この分を免税にする仕組みがあれば寄付しやすくなります。

次に、事業収入ですが、日本の場合、その収益事業の目的がなんだろうと関係なく、その形態で課税されます。そこで、収益事業で得た利益をNPO活動にあてる、つまり組織内で寄付した(みなし寄付金)として収益から減らすという仕組みです。

NPOといっても財政基盤は、寄付が中心だったり、事業収入が中心だったり様々です。また口に税といつても細かいので、寄付控除、みなし譲渡課税、みなし寄付の3本の柱で改革を進めていくことを提案しています。

税制の優遇を受けられる団体

こうした特典を受けられる団体は、自治体・国の税収を減らすにたるだけの一定の公益性をもつことが必要です。そうでないと脱税や不正行為の温床になってしまいます。そこで、公益性の判定をどのようにするかポイントです。日本でも特定公益増進法人(特増)には寄付金控除があります。(表1・NPOに関する日本の税制度でも特増は、大蔵省と主務官庁が、国が本来すべきことを民間がしていると思わせる事業・団体について判断する。つまり、お役所で決められるものです。NPO法人には監督する主務官庁がありませんし、日本では、公益法人になることと税の優遇措置が一緒に考えられているため、公益法人になるのも大変で、特増はわずかの3%しかありません。法人になるというのは、団体としての出生届け、すなわち「団体としてあります」という意味にすぎませんので、税の優遇措置を受けるということと法人格をもつこととは切り離して考えるべきです。

アメリカでは国内歳入庁(IRS)という行政機関、イギリスでは行政から独立したチャリティ委員会が、その公益性の判定を行っています。日本の場合、その文化から考えても、行政と独立したNPOの事業に明るいスタッフで新しい組織をつくり、NPOの公益性を判定していった方が、効果的ではないかと思つています。

●おうみをかんがえる...
淡海ネットコラム
一緒につくって!



財団法人
 淡海文化振興財団
 運営会議委員
 消費生活アドバイザー
 滋賀ネットワーク
 代表 西尾久美子

NPOという言葉が、ここ1,2年で急速に広まってきました。それにとめない「ごく普通の近所のおっちゃん、おばちゃんが集まってボランティアで何かやってはる」という捉え方で、NPOが特別視されることなく社会の中の好意的に見られるようになっていきます。またNPO法が成立し、各地で法人化を取得するNPOの数が増えたことも、NPOが社会的責任能力を有する、行政や企業とは違う第3のセクターの組織であるということを知覚する方向へ進めました。このように

NPOが私たちのまわりで生まれ、育っていくことは、住民が主体的に社会に参画する機会をうみ、今まで行政や企業におまかせだったところに普通の人々が声や力を出していこうという流れを、日本の社会の中に定着させていこうと思います。しかしNPOは非営利組織ですから、運営の基盤となる人もお金もモノも脆弱なところが多く、組織の大きさ、使命の違いにかかわらず、運営に苦労していることは共通項のようです。「NPOって絶対あったらいい、これから必要」と私たちが思っても、NPO自身の自助努力だけで社会の中で第3セクターとして存在が確固としたものになることは、条件的に難しいのが現状です。実は、淡海ネットワークセンターの役割はここにあります。このセンターについて「何しているところかようわからん、運営の母体が行政やし、自由なNPOの活動を何か規制されへんやろか?」と考えてらっしゃるかたもおられると思いますが、センターの使命はNPOの支援という一言につきまます。淡海ネットワークセンターのような行政的NPO支援センターは、行政や企業とNPOの協働に特に力を発揮できるのではないかと、私は期待しています。生活者である私たちが自分の力で、企業も行政も巻き込んで社会に貢献するという枠組みを作るために、このセンターが全国でも先進的な役割を担えると(担わなあかん!)思っています。おうみネットの読者の皆さんの活動や意見をどんどんセンターに寄せて下さい。それが皆さんの活動にフィードバックされるよう、一緒にセンターを育てていきましょう。



[表1] NPOに関する日本の税制度

	普通法人 (企業)	人格なき 社団・財団	NPO法人	公益法人	特定公益 増進法人	日赤 共同募金
寄付金収入	課税	非課税	非課税	非課税	非課税	非課税
金利収入	普通課税	普通課税	普通課税	軽減税率	軽減税率	軽減税率
(税法上の収益事業のみ)						
金利収入	課税	課税	課税	非課税	非課税	非課税
みなし寄付金	なし	なし	なし	あり	あり	あり
個人の 寄付金控除	なし	なし	なし	なし	あり	あり
地方税の 寄付金控除	なし	なし	なし	なし	なし	あり

(3/22 勉強会レジュメより)

公益性を判断する基準

NPOの公益性を判断する場合、私は、アメリカの審査方法が参考になるのではないかと考えています。アメリカの場合、まず、定款をもとに、その団体の有償サービスが低所得者を優遇するスライド制になっているかどうか、また理事が経営している団体との取引をしないかなどとあわせて、運営について決算報告書つまり数字で客観的に調べます。特に収入については、その収入が寄付や本来事業による収入、行政の補助金や公益性をもった助成財団の助成金がある一定の割合をみだしているかを数式にあてはめて判断します(ハブリックサポート・テスト)。寄付といつても、単なる寄付の金額ではなく、どれだけ多くの寄付者から寄付金が集まっているか、多くの市民のサポートを得ているかが判断されます。寄付している人たちが多いほど内部統制ができ、そういった団体には

寄付金控除の資格を与えてもいいのではないかと、国に期待しているのではないかと、多くの人の支持があれば公益とみなしていく。今のNPOにはそれが一番いいのではないかと、思います。また、予算規模が大きくなるほど審査が厳しくなります。円換算で年間予算300万円以下は審査がありませんが、1200万円以上の団体の場合は、正式な確定申告と幹部職員の賃金を公開することで、寄付者が適正な賃金か



今、私たちは...

どうか判断します。つまりNPOをチェックするのは、国ではなく、国民、寄付者の役目だという考えです。

NPO法が施行されてから1年以上がすぎました。この法律は市民団体の強い働きかけによって成立したという特徴をもっています。今後の改正に向けても、これまで以上の市民団体による働きかけが必要です。「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」では、制度改革に向けての活動に、多くの市民団体の参加を期待しています。これを機会に、自分たちの団体に即して税制改正について考えてもらうとともに、滋賀県内での市民団体の議論が深まることを期待しています。

トライト LIGHT!

ちづくり・・・、
に活動されている方々に
活動を詳しく紹介します。

新しい里山づくりをめざす 自由人のあつまり

● 遊林会

手入れをして昔のような
豊かな森に

湖東平野を流れる愛知川の八千代橋下流左岸に広がる15ヘクタールの河辺林。樹木が燃料として使われなくなつて40年、人が入らない森では竹が猛威をふるい、丈の低い植物が枯れたり、常緑樹がはびこることで植生が変化してしまいました。ところで、自然を守り、緑を残す方法に何があるでしょうか。一つはその

ままにしておくこと。もう一つは人の手を継続的に加えていくことです。

昔のような豊かな植生の森を取り戻すために「遊林会」は後者を選びました。

会の定例活動は第2土曜の9時から3時。ミーティングの後、その日のメニューに従い、グルーブごとに作業します。草刈り、落ち葉掻き、樹木や竹の除伐、竹炭焼き、そしてこれからの季節は、キノコの菌打ちや



「河辺いきもの森」での活動風景

たけのこの間引きなど。作業の他にも、植物や野鳥の観察などもしています。

やりたい人が やりたいときに

「やれることを無理せずに」が会

観る人と演じる人、みんなで つくりたい、湖国の舞台

● テアトルネットワーク 「湖人(うみんど)の会」

市民の舞台づくりネットワーク

昨年秋に発足した「湖人(うみんど)の会」は、2001年、滋賀県で開催される「世界湖沼会議」にあわせ、「湖と環境問題」をテーマとした創作劇を、広く市民が参加する市民劇団での公演を目指しています。発足のきっかけは、「昨年の秋、



代表の畠中さん

大津市のアマチュア劇団「自立の会」の公演が、いろんな人たちの協力によって成功し、公演に関わった人たちの中で生まれた「市民の手で舞台をつくりたい」という思いからです。この会は、観る人と演じる人が共につくる舞台をと、環境問題に取り組み団体、舞台芸術の創作グループや鑑賞会、そして読書や文芸の各種文化団体などのゆるやかなネットワークで

のモットー。来たい人が自分の意志でかわる活動なので誰でも参加自由。2年前、5人で始めた活動ですが、今では、小学生から90代の方まで地域を越えて参加者が増え、60名を超える日もあります。「皆、まじめに作業しすぎです。肩の力を抜いて、フイトンチッド(※)たっぷり森の空気を吸い、ごはんを一緒に食べて楽しく交流できればいいですよ」と代表の武藤精蔵さん。「河辺いきもの森」と名付けられたこの河辺林が再び里山として形を整えるのには、その荒れた状態になつてしまつた年月が必要だとか。息の長い活動ですが、自然と共にある喜びを感じ、林

構成されています。

二〇〇二年に向けて

メンバー全員が「つくり手」に

昨年10月9日に、大津市内のプロの音楽劇団「てんてこ」と「自立の会」が中心となり、「湖人の会」結成公演を開催。プロとアマチュア、演じる人と観る人などがつになり、舞台公演を成し遂げました。今年も同時期に、県内の劇団のプロデュース公演を企画しています。さらに、目指す2001年の舞台公演に向け、「琵琶湖を抱える滋賀県だからこそ環境を意識した物語を公演したい」「家族そろつて観られる舞台にしたい」と代表の畠中千敏さんを始め、そ

で遊ぶ人々が集う会。まさに「遊林会」なのです。
(編集ボランティア 大山純子)



代表の武藤さん



昨年10月9日に行われた結成公演の舞台

湖人の会

代表 畠中千敏さん
TEL 077-522-9655
FAX 077-524-7596
大津市西の庄1-24
人数/約70人 設立/1999年

それぞれの分野で活躍するメンバーがアイデアを出し合い、具体的な市民への呼びかけや脚本づくりも始まります。地域の演劇文化を広げながら、市民劇団づくりとその支援のために、メンバー全員が「つくり手」として、魅力ある湖国の舞台を目指しています。
(編集ボランティア 松井由美子)

遊林会

代表 武藤精蔵さん
TEL 0748-24-5658
FAX 0748-24-0752
八日市市役所花と緑の推進室内「遊林会」
人数/約90人 設立/1998年

SPOT

環境・福祉・ま
滋賀県内でキラキラ元気
スポットライトをあて、その



外国語による医療相談会を開催

在住外国人の方が 安心して暮らせる滋賀に...

●MEDICOF滋賀

最近、長期滞在する外国人の方が増え、生活に密着した悩みを抱える方が増えています。そんな中、昨年9月5日、在住外国人の医療に関する相談や悩みを受け付けるボランティアグループ「MEDICOF滋賀」が誕生しました。

新しい相談会のスタート 〜医療と直結して〜

「MEDICOF滋賀では、相談だけでなく必要なら検査、処置、処方と同時にできる医療と直結した医療相談会を開催しています。薬剤師による投薬内容の説明等もあるのです。安心して暮らせる相談会です」と代表の神吉豊さん。ご自身は医師のボランティアとして、参加されています。現在、大津市民病院で奇数月の第2日曜日の午後に医療相談会を

開催。医師や看護婦、通訳やそのときの事務をする人など約120人のボランティアがいます。診療分野も内科、耳鼻科、皮膚科と多岐にわたり、使える言葉もポルトガル、スペイン、タガログ、中国語など11カ国。この相談会を大津市民病院で始めたことで、最近、平日の外国人外来が増えてきました。ここなら一人でも大丈夫というふうにも思われてきたのかもしれない」と大津市民病院の職員という立場で応援し、会の

理事でもある小幡さん。
“こころ”ふれあい、ホッとできる場に！”

「もつと協力病院を県内に増やして、在住外国人の方が気軽に相談できる場所を増やしたい」と神吉代表。また「医療相談だけでなく、外国の方と関わるのではなく、来られた方の文化や言葉を知り、交流を深め、お互いがホッとできる場をつくりたい」と事務局長の鈴木さん。医療相談を通じて草の根の国際交流に取り組んでいます。

(編集ボランティア 石田和子)



(左)代表の神吉さんと(右)理事の小幡さん

メディコフ滋賀

MEDICOFは
Medical Counselors For
Foreignersの略称です。

代表 神吉(かんき)豊さん
TEL 090-3822-9996
(メディコフ滋賀)
FAX 077-522-0192
(自宅)077-537-6762(夜)
大津市民病院地域医療課内
大津市本宮2丁目9-9
人数/約74人 設立/1999年



め・と・て・と・ねっと★

市民&企業&行政ねっと エコ容器包装協会

環境にやさしいパッケージをみんなで考えよう!



▲事務局長の堀池孝和さん
「環境問題は企業とか、市民とか、行政とか一部の人だけが考えても解決するものではありません。企業、市民、行政、研究者が手をつないで初めて、最も良いシステムを構築していくことができると考えています」(事務局長 堀池さん)
現在、協会では毎月公開研究会を開催し、「よい容器包装とは何か」

21世紀を迎えようとしている今、一般廃棄物の56%、家庭ゴミの7割近くを占めると「容器や包装の減量と処理」は、ゴミ問題の重要な課題となっています。95年に容器包装リサイクル法が制定され、ゴミ問題への関心が高まる中、全国に先立ち滋賀県で「環境にやさしい容器包装

を考える場を提供しています。今後は、企業の容器包装のエコ化の検証業務や、消費生活アドバイザーなどによる市民への啓発活動などを行う予定です。毎月の公開研究会には120名前後の方々の参加があり、勉強会や活発な意見交換、提案が行われています。市民をはじめ自治体や企業など、より多くの参加が期待されています。



▼エコパッケージ公開研究会

●お問合せ/エコ容器包装協会
滋賀県大津市中央2丁目2番22号 ニューバラビル3F
TEL.077-510-1919

7・8月の指示板
情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、6月10日までに
FAXまたは郵送でセンターまでお寄せください。

天究館 TEL 0749-48-1820

上映会「問題はこれからです」
6月11日(日) 10:30~/14:00

場所●守山市民ホール
入場料●前売1000円・当日1500円
問合せ●2007年守山の老後を考える会 077-583-7239 (立川)

彦根シネマクラブ6月上映会
「セントラル・ステーション」
6月24日(土)
1回目14:30~ 2回目18:30~

内容●1998年ベルリン映画祭グ
ランプリ受賞作
場所●ひこね燦パレス
会費●1か月1000円
(入会金1000円)当日入会可
問合せ●0749-24-3116 (折戸)
または077-533-1897 (西川)

松宮陸良写真展
「多賀大社を彩る花々」
7月1日(土)まで
11:00~17:00 (月曜休館)

場所●ダイニクアストロパーク天
究館(多賀町)
問合せ●ダイニクアストロパーク
天究館 TEL 0749-48-1820

交流・研究会

フリーピンポンで交流を
5月6日(土)・20日(土)
13:30~15:30

内容●心と心のコミュニケーション
と共に、健康増進と障害者のリハビリに。
場所●近江八幡市ひまわり館
参加費●無料
問合せ●スボレック会
TEL 077-587-0247 (辻本昇)

子どもの権利を考えよう会
5月13日(土)6月10日(土)
両日とも10:00~12:00

場所●県立女性センター
参加費●500円
問合せ●0748-33-7232 (脇坂)
Eメール/wakisaka@mx.biwa.ne.jp

生き方研究会滋賀交流会
5月14日(日)/6月4日(日)
両日とも13:30~16:00

場所●ウイングパレス草津
内容●幸せで健康な生き方につ
いての勉強会
参加費●1回500円/初回無料
問合せ●090-8445-7012 (松井)

あけぼの会
ピアカウンセリング
5月14日(日) 10:00~12:00

場所●ウイングパレス草津
内容●乳がん体験者の会。ひと
りで悩まないで話しましょう。
参加費●無料
問合せ●あけぼの会滋賀支部
TEL/FAX 0749-23-6056 (岡一恵)

エコパッケージ・公開研究会
「消費者は現在の容器や包装
をどのように見ているか」
5月17日(水) 13:30~

場所●立命館大学草津キャンパス
講師●消費生活アドバイザー
西尾久美子氏
問合せ●エコ容器包装協会
TEL 077-510-1919

エコパッケージ・公開研究会
「リサイクル業者から見た
リサイクルシステムの
現状と課題」
6月21日(水) 13:30~

場所●立命館大学草津キャンパス
講師●環境生協藤井絢子氏ほか
問合せ●エコ容器包装協会
TEL 077-510-1919

グループえん
毎月第2木曜・第4土曜
いずれか1回 10:00~12:00

場所●守山市小津公民館
内容●女性の生き方をいろいろな
角度から考えて話し合います。
問合せ●077-581-8445 (粟津)

参加者募集

サポータートレーニング
キャンプ(基礎編)
5月20日(土)~21日(日)

場所●近江八幡市役所ひまわり館
宿泊●おうみはちまんYH
参加対象●高校生以上
参加費●8000円
内容●子ども達の体験に寄り添い、
援助するリーダーシップを学びます。
問合せ●生涯学習研究所SOUP
代表・山本克彦 090-8526-4610
Eメール/soupnet@mx.biwa.ne.jp

現代ドイツ児童文学連続講座
5月26日(金) 14:00~15:30
6月23日(金) 10:30~12:00

場所●県立図書館
問合せ●滋賀県子ども文庫連絡会
資料代●500円
TEL 077-564-3139 (木村)

初心者ヨット教室
6月3日・4日・11日の3日間

日程●座学:6月3日(土)
18:30~20:30
会場/ウイングパレス草津
実技:6月4日(日)・11日(日)
9:00~16:00
会場/県立柳が崎ハーバー
内容●フィッティング(備装)、帆走
練習(タック、ジャイブ)
定員●12名 会費●8000円
申込み●草津ヨット協会事務局(浅井)
TEL/FAX 077-565-1487

車椅子社交ダンス
インストラクター講座
7月22日(土) 10:30~18:00

場所●野洲町勤労者体育センター
費用●テキスト500円
資格登録料500円
申込み●野洲町ボランティアセン
ター TEL 077-586-2565

中国語講座受講生募集
昼の部:10:00~11:30
夜の部:20:00~21:30

場所●近江八幡市桐原会館

参加費●毎月会費3000円
問合せ●小栗勝則
TEL/FAX 0748-33-5775

シニアプレイグループ募集
6月~12月の月2回
第1・3火曜日
10:30~12:00

場所●草津コミュニティ支援センター
内容●お茶をのみながらおしゃべ
りやみんなど手づくり小物をつくつ
たり、元気になることをします。
対象●60才以上の方
問合せ●草津コミュニティ支援セン
ター 077-563-0932

新刊情報

「ひこね読本」発刊

彦根のタウン誌をつくりました。素
材やまちや人へのこだわりをあつ
めた本になっています。
B6P表紙カラー
問合せ●TEL 0749-23-7097 (吉田)

助成金情報

智恵のネットワーク
地域づくり
活動支援助成2000

応募条件●対象団体/日本国内で
地域密着型で地域を元気にし魅力
あるものをしていく活動に取り組
む民主体にグループ
助成の概要●(1)対象となる経費「智
恵のネットワーク」に関わる費
用(2)助成金額と対象件数1件あ
たり100万円を限度とし、10~
15件程度を予定。(3)助成期間
2000年7月1日より2001年3月
31日までの9ヶ月間
申込みについて●公募期間
資料請求/5月15日まで
申込み受付期間/5月22日まで
(財)ハウジングアンドコミュニティ財団
TEL 03-3586-4869
FAX 03-3586-3823
http://www.tokyoweb.or.jp/hous
ingandcommunity/

あなたが参加してみても感じたこと、気が付いたことをお待ちしております。

◎ 5月・6月 伝言板

イベント

大荒比古神社「七川祭」
5月4日(木) 11:00~16:30

内容●奴振り、流鏝馬等
場所●大荒比古神社参道(新旭町)
問合せ大荒比古神社社務所
TEL/FAX 0740-25-5000

第24回春の山野草展
5月4日~5日 10:00~16:00

場所●草津水生植物園「みずの森」

5月13日~14日 10:00~16:00

場所●水口町社会福祉センター
参加費●無料
問合せ●滋賀山草会事務局
TEL 0748-86-4562(谷)

伊呂波会狂言発表会
5月7日(日) 10:00~16:00

場所●彦根城博物館能舞台
内容●大蔵流の狂言を15番アマチュアが発表します。
参加費●無料(博物館入場料も無料)
問合せ●ひこね国際交流会VOICE
TEL/FAX 0749-37-4323(小澤)
Eメール/hataozaw@mx.biwa.ne.jp

世界を旅しませんか!
第1回・ドイツ編
5月10日(水) 10:00~12:00

場所●彦根市民会館
国際交流ミーティングルーム
参加費●700円(要事前申込)
問合せ●ひこね国際交流会VOICE
TEL/FAX 0749-37-4323(小澤)
Eメール/hataozaw@mx.biwa.ne.jp

**第8回びわ湖長浜
ソーデーマーチ**
5月13日(土)・14日(日)

場所●豊公園自由広場~湖北一帯

参加費●大人1200円
高校生以下300円
問合せ●びわ湖長浜ソーデーマーチ実行委員会事務局(長浜市民会館内)
TEL 0749-62-3095

茂山千之丞の芸を見る会
5月26日(金) 19:00~

場所●大津市伝統芸能会館
入場料●一般3300円
問合せ●アトリエ・ミル077-524-7596
大津市伝統芸能会館077-527-5236

ひろば村
5月27日(土) 10:30~14:00

場所●ロク八公園(草津市)
内容●フリーマーケット、模擬店ほか
参加費●300円(4才以上)フリーマーケット出店料は別途必要
問合せ●草津・栗東おやこ劇場
TEL 077-564-2847

彦根シネマクラブ5月上映会
「髪結いの亭主」
5月27日(土)
1回目14:30~ 2回目18:30~

場所●ひこね燦パレス
会費●1か月1000円
(入会金1000円)当日入会可
問合せ●0749-24-3116(折戸)
または077-533-1897(西川)

**長浜おやこ劇場第88回例会
ミニコンサート**
ペガサス弦楽四重奏団
5月28日(日)
14:00~15:30

場所●長浜市六角館ホール
参加費●2500円(会費無料)
(入会金1000円)当日入会可
問合せ●長浜おやこ劇場
TEL/FAX0749-64-1527

親子の天文教室
第1回「りゅう座のすべて」
6月3日(土) 15:30~21:30

場所●ダイニッカアストロパーク天究館(多賀町)

内容●今年の干支にちなみ「りゅう座」についての勉強と工作
参加費●500円 要事前申込み(先着40名・定員制)
対象/小学4年生以上の方
問合せ●ダイニッカアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

特別観望会
太陽系9大惑星をGETしよう
第2回「水星」
6月3日(土) 19:00~19:30
第3回「冥王星」
6月24日(土) 19:30~21:30

場所●ダイニッカアストロパーク天究館(多賀町)
内容●太陽系の9つの惑星を1年間で全部見てしまおう、という観望会。
参加費●小中学生100円 高校生以上200円
問合せ●ダイニッカアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

**近江八幡出身ピアニスト
吉田博の弾き語りコンサート**
6月8日(木) 15:00~17:00

場所●バスタバスタ
(近江八幡商工会議所1F)
参加費●3000円(飲み物・ケーキ付)
問合せ●小さな文化を作る会
TEL 0748-33-1064(千賀)

渡辺潤一講演会
「太陽系の放浪者達
期待されるリニア彗星」
6月10日(土) 15:00~16:30

内容●7月末に明るくなるとみられるほうき星のお話です。
場所●ダイニッカアストロパーク天究館(多賀町)
参加費●無料(要事前申込)
問合せ●ダイニッカアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

音楽会
アンサンブルを楽しむ
初夏の午後
6月11日(日) 14:00~16:00

場所●ダイニッカアストロパーク天究館(多賀町)
参加費●無料・要事前申込み
問合せ●ダイニッカアストロパーク

心をむすんで* リレーエッセイ

●里山の風景を次代につないで●
里山案内人 こんぜ桃源郷 澤 九麻男

琵琶湖のほとり緑豊かな近江平野の南部に位置する栗東町は、自然環境はもとより交通その他の好条件に恵まれています。この地域で、金勝の仏教文化の発祥地として栄えた金勝寺の山の麓に里山を活かした自然体験学校の創造を目指し、有志達が、荒れた山の雑木林、減反の田圃をなにか地域のために、子供達の体験の場にと思い活動を始めました。現在、田植え、稲刈り、栗拾い、しいたけ取り、タケノコ刈り、炭焼き、野焼き、池で魚釣り、夏は木の上に家を造り冒険遊びをしています。秋には、まつたけ刈りや収穫祭、もちつき大会を開催し、多くの人々が自然との付き合い方を楽しみながら学びあい、この世の桃源郷と賞して里山で農的文化の保全再生をめざしています。

また、ボランティア会員を養成するため、腹話術、手品、南京玉すだれ等もやっています。今回は「栗東町ボランティアセンター」の鈴木喜美子さんです。



CENTER INFORMATION

* わくわく市民ゼミナールのご案内 *

わくゼミ受講生募集

■第1回 「日本のNPOの現状と課題」

講師 ● 田尻佳史さん
(日本NPOセンター企画主任)

日時 ● 5月25日(木)
午後6時30分～8時30分

場所 ● ウィングパレスくさつ(草津市立
勤労福祉会館)大会議室
草津市西大路9-6

* * *

■第2回 「NPO・市民活動団体のためのボランティア・マネジメント」

講師 ● 筒井のり子さん(龍谷大学社会学部助教授)

日時 ● 6月14日(水) 午後6時30分～8時30分

場所 ● 草津コミュニティ支援センター
大会議室
草津市西大路10-12

* * *

次回予告

第3回 「地方分権と市民社会」

講師 ● 富野暉一郎さん
(龍谷大学法学部教授)

受講定員 ● 毎回50名(先着順)

受講料 ● 1回500円

お申し込み先 ● 淡海ネットワークセンター

2000年度年間スケジュール

ことしも役立ち、ためになる企画や
イベントが目白押し

淡海ネットワークセンターの今年度の年間スケジュールが決まりました。2期目を迎えた「未来塾」や「わくわく市民活動ゼミナール」「屋台村」などの事業を引き続き行うほか、皆さんの意見や提言をいただき、新しい展開も模索していきたいと考えています。ぜひ活用ください。

■未来塾開講式

日時 ● 6月11日(日)
13:30～
場所 ● ビアザ淡海

■おうみ市民活動屋台村

9月30日(土)
10月1日(日)
県立県民交流センター(ピアザ淡海内)で開催します。多数の参加をお待ちしています。

■わくわく市民活動ゼミナール

市民活動に関する知識を深めるための講座です。講義形式とワークショップ形式で行います。
日程 ● 5月後半から5回
参加費 ● 1回500円

■淡海ネットワークサロン

少人数のサロン。県内各地で開催します。あなたもネットワークを広げませんか。(不定期開催)

注) 計画は予定ですので、開催時期などを変更することがあります。



いっしょにイベントづくりをしませんか おうみ市民活動 屋台村実行委員会募集!

市民活動やNPOの情報交流、理解促進、市民活動の盛り上げのきっかけとなるような「おうみ市民活動屋台村」を9月30日・10月1日にピアザ淡海で開催します。この屋台村を一緒に企画してください。この実行委員を募集しています。

■募集人数 30名程度

■応募資格 市民活動を実践しているか市民活動に関心があり、屋台村に参加できる方

■応募期限 5月9日(火)

応募先・問い合わせはセンターまで

表紙の漫画家紹介

杉尾 尚子さん

草津市在住。
高校一年生のとき少女漫画の雑誌「りぼん」でデビュー。現在はレディースコミックのジャンルで活躍中。NHKのドキュメント番組でも放送されたことのあるパワフルな女性。「3児の子育てしながらの執筆活動は大変ですが、自宅でできる仕事なので、家事も仕事も楽しみながらしています。また、地域活動も興味があり参加しています。今回の漫画シリーズは私も勉強になり、楽しんで描かしてもらっています。



編集後記

★おうみネットをリニューアルしました。

今月号から、表紙や全体のレイアウトのイメージを少し変え、新コーナーとして、企業と市民団体が同じ地域の市民として社会貢献に取り組む事例を紹介する「めとととネット」を始めました。「こんなことを一緒にやっているよ」という事例がありましたら、ぜひご連絡下さい。新年度が始まり、5月下旬からセンターのいろいろな事業も始まります。現在、今年の秋の「おうみ市民活動屋台村」を開

催に向けて、実行委員の募集を行っています。「こんなことをしてみたい」そんなみなさんの声をこの屋台村で出展して下さい。ピアザ淡海に引越して2年目の春です。ぐっと利用者も増え、センターも新しいスタッフを迎えました。今年度もみなさんのセンターとして一緒に歩いて行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。次号の特集は環境問題です。お楽しみに。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net

■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時 ● 月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

